

育児相談研修会

期日

東部 平成三十年十一月二十八日 (水)
中部 平成三十年十一月二十日 (火)
西部 平成三十年十一月二十九日 (木)

会場

東部 沼津市民文化センター
中部 静岡音楽館AOI
西部 アクトシティー浜松

テーマ

「親への対応 話の聞き方、伝え方、話の引き出し方」

講師 ひととき保育高井戸

施設長

磯田節子氏



今年も育児相談研修会が東部・中部・西部の三会場で開催されました。この研修は保育所・認定こども園で相談業務に携わる職員に対し、保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる専門知識や技術等、実践的な能力を習得することを目的に、東京都にあるひととき保育高井戸施設長の磯田節子氏にお願いしました。



午前の研修は対人援助で重要な傾聴の基本と実際について行いました。カウンセリングの現場で実際に用いられる技法についての講義の後に、グループワークを行いました。始めは少し緊張した様子の参加者も、グループワークで徐々に緊張もほぐれ、打ち解けた雰

囲気で研修に向き合うことができました。午後の研修は事例をもとに実際の相談室や、保育の場面の設定で話し手ときき手に分かれたロールプレイでは、学んだカウンセリングの技法を用いて保護者支援・子育て支援の基本を実践しました。また、新聞紙を制限時間内により高く積み新聞紙ビルディングを行い、グループで感じたこと、気づいたこと等を分かち合いました。

今年度の育児相談研修会は、座学形式ではなく、グループワークを多く用いた体験形式学習であったため、人と人との関わり原点である「傾聴」や「分かち合い」についての理解が大変深まり、意義深い研修だったと思います。研修で学んだことを職場へ持ち帰り、「心の声を聴く保育者」の裾野が広がって行くことを磯田先生も願われておりました。

